


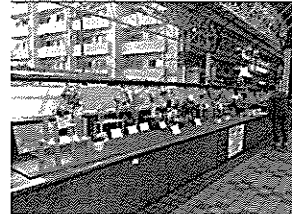


① 事業実施報告書詳細

学校名 大岡小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
2時間	弘明寺 商店街 (桜橋)	第一回 花と器の ハーモニー展 (3~6年生) 商店街組合の方に自分たちでお願いし、花と器のハーモニー展を開く許可をいただいた	 <p>「桜橋の景観を良くしてほしい」</p>  <p>まださみしいな。花を増やしたい。 花屋さんに相談しよう。</p>	<p>活動の趣旨を説明して、桜橋に飾る許可をいただきました。赤い毛氈もいただきました。</p> <p>酒屋さんに瓶をいただいたり、地域の方に花瓶をいただきました。</p> <p>足を止めて眺めるまちの人もいました。</p>
2時間	弘明寺 商店街 (桜橋)	第二回 花と器の ハーモニー展 (3~6年生) 花屋の方へ活動の趣旨を伝えたり、花の写真を使ったりして、もっと華やかな花と器のハーモニー展にした。	 <p>「できる範囲で協力しますよ」</p>  <p>花の写真を塀に飾ろう</p>  <p>桜橋と塀だけではなく、商店街の柱にも飾りたいな</p>	<p>花屋の方に相談しました。花を分けていただきました。商店街のラーメン屋の方からも開店記念の花を分けていただきました。地域の木材加工所から、廃棄板材をいただきました。</p> <p>手作りの花台や色々な塀に飾られた写真を見てくださる方もいました。</p> <p>商店街のフェイスブックに載せていただきました。</p>

<p>2時間</p>	<p>弘明寺 商店街 (桜橋)</p>	<p>第三回 花と器の ハーモニー展 (3～6年生) 商店街の30 か所の柱にも花 を飾り、桜橋だ けではなく、商 店街全体を「花 の商店街にしよう」と取り組み ました。</p>	 <p>30か所の柱にも飾りました。</p>  <p>アンケートには、温かいメッセージ</p>  <p>まちの人と一緒に飾りたいな</p>	<p>柱に飾っていると商店街のお店の人や通る人から声をかけられることが増えてきました。まちの人の中に柿を飾る方がいました。アンケートからも一緒に飾りたい小さい子がいるということが見えてきました。商店街のフェイスブックに載せていただきました。</p>
<p>2時間</p>	<p>弘明寺 商店街 (桜橋)</p>	<p>第四回 花と器の ハーモニー展 (3～6年生) まちの人も参加できるように塗り絵コーナーや生け花体験コーナーをつくり、足を止めてみてくれた方と話をしながら一緒に「花の商店街にしよう」と取り組みました。</p>	 <p>生け花体験コーナーへのお誘い</p>  <p>小学校の頃のお話を聞きました。</p>  <p>まちの人と一緒にできて嬉しい。1・2年生の花も一緒に飾ろうよ。もっと竹や木を使ってダイナミックな作品も作りたいな。</p>	<p>アンケートに、仕事の帰りに眺めて、元気ももらいました。いつも楽しみにしています。と、繰り返し見てくれている方が増えてきました。花の手入れに行くと「君たちが、あの花を飾っている子どもたちか」と声をかけてくれる方も出てきました。商店街のフェイスブックに載せていただきました。学校のホームページに紹介ページを作る子どもも出てきました。</p>

<p>2時間</p>	<p>弘明寺 商店街 (桜橋)</p>	<p>第五回 花と器の ハーモニー展 (1～6年生) 1・2年生の育 てている植木鉢 の花や楽竹会 の方から頂いた竹 や学校の木の子 も入れて、みんな のハーモニー展 を開きました。</p>	 <p>NPO「楽竹会」の方から竹をいただきました。</p>  <p>まちの人の参加コーナーも広がり ました。</p>  <p>クリスマスが近づき、夜はLED でライトアップされました。</p>	<p>商店街組合の方から「反響があるよ」と言っていたきました。足を止めて眺める人や話しかけてくれる方も増えました。また、花の手入れを終えると、子どもからまちの人に体験を促しに声をかける姿も多く見られるようになりました。</p> <p>CM動画をつくり、学校で紹介する子どもも出てきました。大岡小の他学年の子のアンケートも増えました。</p> <p>南区の学習発表会の舞台でも「花と器のハーモニー展」を紹介しました。</p>
<p>2時間</p>	<p>弘明寺 商店街 (桜橋)</p>	<p>最後のハーモニー展を終えて、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えに行きました。商店街組合の方から「ありがとう」と言われ、自分たちの活動が、商店街の景観を良くすることにつながったと振り返りました。</p>	 <p>自分たちだけではなく、たくさんの方々にお世話になったことを感じた子どもたちは、感謝の気持ちを伝えようと、ありがとうカードを作り、手紙を書き、届けに行きました。</p> <p>商店街組合の方へ、感謝の気持ちと伝えに行くと、逆に感謝の気持ちを伝えられました。自分たちの活動が多くの人に支えられ、また、まちの景観を良くすることにつながったと実感する子どもたちでした。</p>	<p>最後のハーモニー展のアンケートには、季節の花や題名、手作りの花台、この取り組みについて、楽しみにしていたことやまた、取り組んでほしいことといった温かいメッセージが寄せられました。</p> <p>花屋、木材屋、楽竹会、酒屋、商店街組合の方等、温かくありがとうカードを受け取っていただきました。</p>

花と器のハーモニー

～花の商店街を創ろう～

1 単元の構想

(1) 単元立ち上げ時の子どもの願いや目的意識と、教師の願い

学校に咲く花の写真を撮ったり、押し花をつくったりすることで興味をもって、自分から飾る子が出てきた。ある子が見つけたチラシをきっかけに見学した「花と器のハーモニー展」は、とてもきれいでアイデアに触れる機会になった。「花を飾るだけじゃないんだね」「自分たちも花と器のハーモニー展を開きたい」と夢が膨らみ、実際にやりたいことを話し合うと、花畑づくり、花台作り、写真展や動画など、多様なイメージで盛り上がり、「見た人が嬉しくなったり、心穏やかになったりするような花と器のハーモニーを目指そう」と願いの実現に向けて動き出し、単元が立ち上がった。

花と器のハーモニーについて、子どもたちは「組み合わせることでもっとよく見える」と言っており、花と器の組み合わせだけでなく、見てもらいたい相手や場所、花を置く周りの様子、光等、組み合わせは多様であることに気付き、空間をデザインしたり作品に付ける題名を工夫したりするようになった。活動の中で、作った花の作品を「もっといろいろな人に見てもらいたい」という願いが生まれ、花と器のハーモニー展を学校で開くだけでなく、地区センターや商店街の桜橋でも開催するに至った。

花と器のハーモニーは、1年生から6年生まで、様々な得意不得意のある子どもたち全員が夢中になれる幅広いかわり方ができる材である。最初は「自分の作品をたくさんの人に見てほしい」という思いで活動をしていたが、実際にハーモニー展を学校や商店街で開いた際、アンケートに「とてもきれい」「疲れているときに花を見たら、元気が出てきた」などの感想があり、自分たちの力で人を喜ばせることができること、自分たちの活動でまちを盛り上げることができることに手応えを感じている。本単元を通して、一人一人の自信を高め、どのような活動でも自分なりのかかわり方を見つけて活動を盛り上げていこうとする態度を養いたい。

(2) 設定した材「花と器のハーモニー」を中心とした学習内容

〈教材研究の視点〉「花と器のハーモニー」を生み出すものは何か
 〈学習内容〉

目指す子ども像	求め続ける子ども・創り上げる子ども・共に生きる子ども		
資質・能力 本単元における探究課題	知識、技能 (対象についての概念)	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
花の学校・商店街を自分たちで創ることでつながりや地域活性化のために取り組んでいる人々の思いや願い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 願いを実現していく中で、ハーモニーには、場所や状況、季節や行事、人の反応や温かさ、自分たちのテーマ等多様であることに気付く。 ・ 生け花の先生の話聞き、命ある花への接し方や花を主役にした飾り付けが大切であることに気付く。 ・ 真剣に取り組む、礼儀正しく相談すると自分たちの活動が理解され、活動を広げていくことができることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「花と器のハーモニーを広めたい」という願いの実現に向けて、花を元気にする工夫、きれいに飾る工夫をする。 ・ 手入れや飾り方の問題と向き合い、手入れが滞らない方法やテーマが伝わる飾り方を工夫する。 ・ 飾る場所の許可をとるために、活動の意図や自分たちの願いが伝わる言葉を話し合い、適切な接し方を考え実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花を育てたり、飾ったりして、花の美しさや花と器のハーモニーを創る面白さを感じる。 ・ 「見た人がいい気持ちになる自分たちの花と器のハーモニー展を開きたい」という願いをもって、花を育てたり、よりよい作品を作ったりしようとする。 ・ 充実した花の活動を振り返ることで、自分らしさを生かしたり、花を自分の生活の中に取り入れたりしていこうとする態度を養う。

(3) 単元目標

花を魅せる活動を通して、ハーモニーを生み出すものは、花と器や場所、光、テーマ設定だけでなく、自分らしさや活動を支えてくれる人の存在であることに気付き、継続的に花と関わって花を生かすことで、見てくれた人を喜ばせることができた自分に自信をもち、自分なりの関わり方で生活の中に花を取り入れていこうとする態度を養う。

(4) 単元の展開と、子どもの姿の「これまで」と「これから」

全 84 時間 (まちの景観授業 1 2 時間)

「何か楽しいことをしたいな」 6(大岡 6)

- iPad で、学校に咲く花の写真を撮り、飾る。(大①)
- 押し花をつくり、飾る。(大②)
- 自分の花瓶をつくり、飾る。(大②)
- 「花と器のハーモニー」を大岡の時間にすると、どんな活動ができるか話し合う。(大①)

花ってきれいだな。今年は花を育てたり、自分で作った花瓶を見てもらったりしたいな。学校に『花と器のハーモニー』を広げたいな。

「学校に『花と器のハーモニー』を広げよう」 26(大岡 26)

高学年 (3~6 学年)

- 実際に『花と器のハーモニー展』を見学し、アイデアを広げる。(大④)
- 自分の家、まちの花屋や材木店から、花や器、木材を集めるために、活動の意図や思いを伝え、願います。(大①)
- 飾る許可をもらうために『花と器のハーモニー展』を開く活動の意図や思いを話し合い、校長先生や地区センター、商店街組合の方に説明する。(大②)
- 飾りたい花の作品や場所、どのように動いていくか話し合い、実現していく自分たちの『花と器のハーモニー展』を想像し、明確にする。(大①)
- 自分の花瓶や花の作品をつくり飾り付けを工夫する。(大②)
- 自分の好きな場所に飾り、『花と器のハーモニー展』を開き、自分で見たり、感想をもらったりしながら、手入れをしてさらに工夫する。(大②)
- 感想を手掛かりに、次の『花と器のハーモニー展』に向けた課題を話し合い、解決方法を考える。(大②)
- 生活の中で見られる花の使われ方や飾るときの工夫を集めて整理し、花と器だけではない組み合わせがあることに気付き、アイデアを広げる。(大①)

テーマを決めたり、場所や光も入れたりしてもっと心に響く「花と器のハーモニー展」を開きたいな

- 思いや意図を込めて飾り方を工夫したり、飾る場所を考えたりして、自分の花瓶や花の作品をつくる。(大②)
- 思いや意図を込めて『花と器のハーモニー展』を開き、自分で見たり、感想をもらったりしながら、手入れをしてさらに工夫する。(大②)
- 感想を手掛かりに、次の『花と器のハーモニー展』に向けた課題を話し合い、解決方法を考える。(大②)
- 思いや意図を込めて飾りを工夫したり、飾る場所を考えて自分の花瓶や花の作品をつくったりし、感想をもらい活動を振り返る。(大③)
- 自分たちの『花と器のハーモニー展』の写真や動画を細井さんや地区センターの副館長さんに見せて、商店街や地区センターで開く相談をする。(大②)

低学年 (1・2 学年)

自分の花を育てたいな

- 花屋で花を見たり、種の袋の花の写真を見たりして、育てたい花を決める。(大②)
- 春から夏に咲く花を育てる準備をする。(大②)
- 花の様子を見て世話をする。(大②)
- 気付いたことを伝え合い、よりよい世話のやり方を工夫する。(大②)
- 元気に育てるための花の世話の仕方について調べたり、教えてもらったりする。(大①)
- 気付いたことを伝え合い、元気に育てるよりよい世話のやり方を工夫する。(大②)
- これまでの栽培活動を振り返る。(大①)

理科「植物の水の通り道」白い花が色水を吸っている様子を観察して、水を飲む植物に、水切りや水替えを切じようにする。(関連付けて現象

道徳「生命尊重」教材文を読み、自分の花へのかわり方を振り返り、命を大切にしようとする態度を養う。(自分たちのかか

図工「花の題名をつける」作品の題名を聞いて花の作品を見たり、思いが伝わってくることに気づく場所をたたく作品につづなげられる。(想像を膨ら

学校みんなに喜んでもらえる『花と器のハーモニー展』を開けるようになってきたな。商店街や地区センターを僕たちの『花と器のハーモニー展』で明るくしていきたいな。

毎日の活動でにここマークが増えて自信につながったよ。もっとにここマークを増やしていきたいな。

研究
期

○これからどんな『花と器のハーモニー展』を開きたいか話し合い、アイデアを広げる。(大①) **B2 D2**

商店街や地区センターで『花と器のハーモニー展』を開きたい

まちの人に動画を見せて大岡小の取り組みを広めたいな。

花と器だけじゃない組み合わせでもハーモニーができそう。

花と写真を工夫して飾りたいな。

プログラミングもいろんな人に楽しんでもらいたいな。

商店街や地区センターで見た人がもっと楽しくなるような『花と器のハーモニー展』を開きたい

○『花と器のハーモニー展』を多くの人に知らせる方法を考える。(大①) **B2**

○商店街組合の方、地区センターの方等に相談する内容を考える。(大①) **E2**

学校のみんなに来てほしいな。

地域の人たちにも知ってほしいな。

ポスターを作って知らせよう。

作ったポスターを学校や商店街に掲示する許可をもらわないと。

○まちで開くために、インタビューや現地調査をする必要に気がつき、まち歩きやインタビューを行う。(大①) **G2**

○商店街で『花と器のハーモニー展』を開く。(大②) **B2 D2**

○感想やふりかえりなどを基に、課題を話し合い、次のハーモニー展をよりよくしていくための準備をする。(大②) **E2**

オアシスがはみ出ているのが目立つ。

オアシスを小さく切ろう。

葉っぱで隠すのはどう？

お花が傷んでいるよ。

当番制にして世話をしたら？

お世話タイムを作ってみんなで世話をしよう。

○地区センターに『花と器のハーモニー展』の活動の様子を伝える掲示物を貼り、花の作品を飾る。(大①) **G2**

○商店街で『花と器のハーモニー展』を開く。(大②) **B2 D2**

○感想やふりかえりなどを基に、課題を話し合い、次のハーモニー展をよりよくしていくための準備をする。(大②) **E2**

写真があまり目立ってなかったね。

目立つところに貼ったらよかったね。

花が飛び出ている写真を置いたら目立ちそう。

ダイナミックな作品にしたら見応えがあるね。

竹にオアシスを入れてみると面白そう。

木の枝を後ろに挿すとダイナミックな作品になりそう。

行事に合わせた作品を作ってもよかったね。

かぼちゃを器にした作品を作ったよ。「おもしろい」と感想に書いてくれた

次はクリスマスがあるからクリスマスツリーのような作品にしたら面白そう。

○地区センターに『花と器のハーモニー展』の活動の様子を伝える掲示物を貼り、花の作品を飾る。(大①) **G2**

○商店街で『花と器のハーモニー展』を開く。(大②) **B2 D2**

にこにこお花の部屋を作ろう

○花屋で花を見て、育てたい花を決める。(大①) **A1 B1**

○秋から冬に咲く球根を育てる準備をする。(大①) **B1**

○花の様子を見て、世話をする。(大②) **A1**

○自分が育てている花の様子を観察して、花のことをよく知る。(大①) **A1 B1**

○飾りたい花の植木鉢や場所、どのように動いていくかを話し合い、来てくれた人がにこにこしてくれる花の部屋になるように想像し、明確にする。(大②) **D1 E1**

○たくさんの人たちに見てもらって、にこにこになってほしいな。

来た人がにこにこになってくれるように、お花もにこにこにしよう。

○「にこにこお花の部屋」に交流級の友達や先生を招待する。(大①) **B1**

○やってみて気付いたことや、来てくれた人の感想を基に、来てくれた人がもっとにこにこしてくれる花の部屋になるように話し合う。(大⑤) **B1**

自分の花のすてきポイントを伝えようよ。

花を来てくれた人が見やすい向きに飾る

○これまでの活動を振り返る(大①) **C1**

みんながにこにこになってくれて嬉しかったな。次は別の場所にも飾りたいな。

理科「発芽の条件」
水栽培を通して、水が減ることと、球根から芽が出たことを結び付けて捉え、元気に育つためには水が必要なことを実感できるようにする。
(関連付けて、現象のきまりを捉える。)

国語「わかりやすく伝えよう」
商店街で「花と器のハーモニー展」を開く許可をもらうために、自分たちの活動や意図が伝わる適切な言葉を考え、商店街組合の方

社会
商店街で商売をしている人たちがなぜ自分たちの活動に協力しているのか、商店街の人たちのつながりを捉え、それぞれの立場になって考える。

道徳「社会参画」
感謝させる体験を振り返り、自分たちの果たした役割を自覚し、さらに、商店街を盛り上げたいという願いをも

○お世話になった人たちに、フラワーバスケットやハーバリウムを届けて、商店街を盛り上げる。(大②) **B2 G2**

低学年と一緒にクラスで一つの『花と器のハーモニー展』を開きたいな

○ひな壇で『花と器のハーモニー展』を開き、クラス全員で飾る作品のテーマや計画を立てる。(大③高本時) **B3 D3 E**

3 広い空間を使ってダイナミックなことができそう。

大きな木や竹を使ってみると面白いかも。

竹を器代わりにしてみよう。

ひな壇の上から光が差し込むよ。

下から見ても上から見ても綺麗なハーモニーを作れると思う。

鏡を使うときれいだよ。

低学年と一緒にハーモニー展を盛り上げたいな。

ぼくと友達やりたいイメージが合わないな。

飾れる期間を前半と後半で分けるとどっちもできるよ。

ひな壇全体として題名を付けると面白い空間になりそう。

○高木先生の話聞き、花を主役として花瓶や台との組み合わせを考えたり、飾り付け方を考えたりすることの大切さを知り、自分なりに工夫して作品を作る。(大②) **D3 H**

○竹や木を使って台を作ったり花を飾り付けたりし、ひな壇で『花と器のハーモニー展』を開く。(大②) **D3 E3**

○許可をもらった期間、きれいな景観を維持するための手入れをする。(大②) **A2 E2**

○地区センターに『花と器のハーモニー展』の活動の様子を伝える掲示物を貼り、花の作品を飾る。(大②) **G2**

○感想を基に、今回の活動を振り返り、次の『花と器のハーモニー展』の活動に向けて話し合う。(大①) **B3**

段差を利用した作品を作れたよ。

商店街でもダイナミックなハーモニー展を開きたい。

ひな壇の時みたいに商店街でも低学年とコラボして頑張りたい。

○低学年と高学年と一緒に、商店街で『花と器のハーモニー展』を開くために、許可をもらった場所にふさわしい飾り方を話し合う。(大②) **D3 E3**

○低学年と高学年と一緒に、商店街で『花と器のハーモニー展』を開き、きれいな景観を維持するための手入れをする。(大②) **A2 G2**

○地区センターに『花と器のハーモニー展』の活動の様子を伝える掲示物を貼り、花の作品を飾る。(大②) **C2 G2**

「自分たちの取組も紹介できる『花と器のハーモニー展』を開こう」15(大岡7)

○文化祭や南区合同発表会、桜橋、地区センターで自分達の取組も伝える『花と器のハーモニー展』を開く計画を立てる。(大①)

○これまでの活動を振り返り、『花と器のハーモニー展』が成功した理由を話し合い、整理する。(大②)

○文化祭や南区合同発表会では、自分たちの取組を花でつながる物語として伝える舞台を考える。(大④)

○ビデオに撮って練習し、より伝わる動きや言葉を工夫する。(大④)

○桜橋、地区センターでは、花の土台やアニメーション、動画等、花と器のハーモニーを支えてきた自分の取組も紹介できる『花と器のハーモニー展』を開く。(大④)

色々な人とかかわって、一緒に活動できたから、成功したんだな。ハーモニーを生み出しているものには、自分たちの発想、人との関わりもあったんだな。これからも花を大切にしたり、自分の生活の中に取り入れたり、発想を広げて活動を充実させていきたいな。

ひな壇に飾る花の作品で学校もみんなもにこにこにしたいな

○花の様子を見て世話をする。(大②) **A1**

○飾りたい花の作品や場所を出し合い学校やみんなをにこにこにする方法を考える。(大④) **B1 C1**

大切に育てた花を全校のみんなに見てもらいたいな。ひな壇がすごく良さそう。

○花の様子を見て世話をする。(大②) **A1**

○ひな壇に飾る作品の飾り方を考え、思いやテーマを込めて、作品の飾り方をさらに工夫する。(大⑦低本時) **B1 C1 D1 G1**

○ひな壇の『花と器のハーモニー展』に友達や家の人、地域の人を招待して、感想をもらい活動を振り返る。(大③) **C1 E1 F1**

みんながにこにこになったよ。嬉しいな。商店街にも飾ろうと誘われたよ。

図工「植木や花に作る飾り」やいろいろな形や色を捉えたり、ひな壇の情景をかいたり、想像を膨らませて、作

お花のおかげで色々な人と繋がって、学校や商店街を盛り上げていくことができ嬉しかった。見ている人が嬉しそうにしている顔もたくさん見ることができたな。

国語「わかりやすく伝えよう」言葉の使い方に着目して、「花と器のハーモニー」の良さを伝えるために適切な言

2 小単元の構想 「みんながもっと楽しくなる花の学校や商店街を創ろう」

(1) 本小単元で育てたい資質・能力

知識、技能 (対象についての概念)	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・花への接し方を学ぶ中で、花が主役であることを意識して飾り方を考えていくことや、発想を広げること、活動を充実していくことができることに気付く。	・見る人がもっと『花と器のハーモニー』を感じられるように、作品や空間、思いや意図の伝え方、花が元気でいられる方法を工夫することができる。	・花の美しさや命を感じたり、育てたり、自分なりに空間を作ったりする楽しさや人に喜んでもらえる喜びを感じ、願いを膨らませたり、明確にしたりする。

(2) 小単元目標

学校や地域の人に『花と器のハーモニー』を届ける取り組みを考えたり、自分なりの魅せ方を工夫したりする活動を通して、ハーモニーを生み出すものは、自分らしさや活動を支えてくれる人の存在があることに気付き、花を生かすことで、見てくれた人を喜ばせることができた自分に自信をもつ。

(3) 小単元の学びの規準

	目指す子どもの具体的な姿とみどりの視点	支援
求め続ける	<ul style="list-style-type: none"> ・花の世話をしたり作品を作ったりすることで、花の美しさ、花に関係する物をつくる面白さ、成長への喜び、花と器のハーモニーを感じている。(対象に心を寄せる) A1 ・『花と器のハーモニー展』を見てくれている場面を見たり、感謝されたりすることで、手応えを感じている。(対象に心を寄せる) A2 ・花や、花を見に来てくれた人をにこにこにしたいという願いをもつ。(目標や願いを高める) B1 ・まちの人の応援を受け、みんなが集まる花の商店街をつくりたいという願いをもつ。(目標や願いを高める) B2 ・クラスが一つになり、もっと心に響く『花と器のハーモニー展』を開きたいという願いをもつ。(目標や願いを高める) B3 ・活動を振り返り、計画し、話し合うとにこにこを増やせることに気付く。(自分の学びや成長を振り返る) C1 ・活動を振り返り、礼儀正しく接し、自分なりの関わり方で作品をつくることで、まちの一員になれることに気付く。(自分の学びや成長を振り返る) C2 	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭で花を摘んだり、花を育てたりすることで、花と向き合えるようにする。 ・アンケートや直接の感想を知る機会を作ること、活動の手応えを感じられるようにする。 ・花も、見てくれた人も、飾った自分たちもにこにこにされたよという「にこにこマーク」を作り、手応えを視覚的に実感できるようにする。 ・商店街の方がなぜ自分たちの活動に協力してくれるのかを全体で考えることで、「商店街を盛り上げたい」という思いをもてるようにする。 ・クラス全員で飾れる場所がないか一緒に探し、子どもが活動を広げられるようにする。 ・これまで活動で集めてきた「にこにこマーク」を確認できる掲示物を作り、集められた達成感を感じられるようにする。 ・自分たちの活動によって、まちを盛り上げることにつながることを実感できるようにする。
創り上げる	<ul style="list-style-type: none"> ・花を置く場所や花の組み合わせなど、魅せる工夫をする。(目標や願いの実現を構想する) D1 ・みんなが集まる花の商店街にするために、柱の作品や動画制作の工夫をしたり、まちの人と一緒に活動するアイデアを話し合ったりする。(目標や願いの実現を構想する) D2 ・もっと心に響くクラスのハーモニーを創り出すために、飾る場所を生かした作品を選び、魅せ方を工夫する。(目標や願いの実現を構想する) D3 ・枯れや病気等の問題に向き合い、水の量、健康チェック等、自分なりの解決方法を考え実行する。(問題に気付き、見直しをもつ) E1 ・手入れや作品を飾る場所、安全面、思いや意図が伝わらない問題に向き合い、解決方法を考え、実行する。(問題に気付き、見直しをもつ) E2 ・友達と自分の思いや意図の違いに気付き、解決方法を考え、実行する。(問題に気付き、見直しをもつ) E3 ・感想や写真をもとに、にこにこを集めることができることに気付く。(多様な情報を整理し捉える) F1 ・アンケートや地域の方の感想から、花の商店街をつくるポイントを知る。(多様な情報を整理し捉える) F2 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように飾ると工夫や思いを伝えることができるかを考え、実行する。 ・ハーモニー展をPRする動画を作成したり、どこに飾ると商店街が盛り上がるか現地調査をしたりする。 ・飾ってみたいテーマを個人的に聞いておき、事前に材料を集めておくことで、実際に置けるようにし、全体で見合えるようにする。 ・花を生ける時の基本姿勢を定期的に確認する時間を設定し、問題に向き合う。 ・全員で手入れをしたり、風で飛ばないように作品を固定したり、みんなの目に留まる飾り方を考えたりする等の解決方法を考え、実践する。 ・一人ひとりの作品の良さを認めることで、それぞれの思いが組み合わせられた作品を仕上げられるようにする。 ・感想や活動の写真を全体で振り返る時間を設定する。 ・直接感想を伝えてもらう機会を作ったり、アンケートボックスを設置したりする。
共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のかかわりや気付いたこと、考えたことを仲間に伝える。(人や社会とつながる) G1 ・活動の様子や思いや意図を地域の方に伝え、相談し、一緒に活動を盛り上げていく。(人や社会とつながる) G2 ・詳しい方から花が主役であることを意識した飾り方を教わる。(仲間に学ぶ) H 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発見や発想を認め、自信をもってみんなに伝えられるようにする。 ・相談に行く前に自分達のやりたいことを明確に説明できるように練習したり実物を用意したりして、思いや意図を伝えやすくする。 ・生け花の先生から話を聞く機会を設定する。

<留意点>

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

「花と器のハーモニー展」を毎回改善していくために、アンケートや子どもたちの振り返りから、次の改善を見い出して、子どもたちのアイデアで活動を広げていく工夫をした。また、興味も得手不得手も多様な子どもたち一人一人が活動に自分から参加できるようにしていくために、花の台作りやCM撮影、漫画、塗り絵、プログラミング等、多様な支える活動を位置づけて、それぞれのかかわり方で探求できるようにした。

(2) 実施にあたり苦労した点

実際の横浜の花と器のハーモニー展を見学したり、地区センターや商店街の方々と打ち合わせをしたり、子どもたちが動き出した時にどのように実現していけるか相談しながら進めていくことに力を注いだ。また、自分たちで木材、花、花瓶など手に入れるために多くの方々にお世話になった。学校教育目標や目指す子どもの姿の中にある「共に生きる」の姿にしっかりと近づけるように、人とのつながりをもてるように、教師が色々な方とつながりをもつ教材研究を重ねていった。

(3) 児童の反応

個別学習教室の子どもたちにとっては、商店街を盛り上げるための一つとなる活動は、初めての体験で、挑戦する意欲を高くもって臨んでいた。まちの景観を良くすることで、役に立ちたいという自分たちの活動の意図を伝え、許可をもらった時には、社会の一員として認められたような喜びを感じていたようで、6年生の学習の振り返りには、諦めない心や声をかける勇氣、まちの景観をよくすることにつながったことが確かな自信につながったことが書かれ、卒業式の呼びかけでしっかりと伝えることができた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

教師自身がまちの人とつながる教材研究を重ねたことで、まちの人の温かさを実感でき、今後、いろいろな場面で相談できる関係をまちの人と築くことができたこと。また、駅や商店街に飾られている花に目が向くようになり、まちの景観について、意識するようになった。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

子どもたちは、今後も商店街や地区センターとかかわりたいという願いをもっているため、まちの景観やマナーはもちろん、いろいろな場面でのかかわりを増やしていけるようにしていく。さらに計画的に相談して進めていけたら良いと思う。